



介護と
予防

福祉用具の導入事例 その①

今回は、いままでご紹介してきたことも振り返りつつ
実際の介護現場であった成功事例や、
ヒヤリハット事例の「ポイント」をご紹介します。

パーキンソン病

好き・快適・得意・安心と感じたときには体が**動きやすく**なり、
嫌い・不快・苦手・怖いと感じたときには体が**動きづらく**なる

すべての病気・症状に当てはまるとは限らないので、実際はおひとりおひとりにあわせた対応をしてください。



成功事例 ①

Aさんは見慣れない新人の介護者が話しかけると、無表情で一言も話さない(実際は“話せない”)のに、よく知っている介護者には笑顔で話し出すことがありました。**パーキンソン病の理解がないと、「嫌われた」「わがままだ」など捉えがちなので要注意。**ちなみにこのときは、Aさんが好きな歌をBGMで流させていただくと、表情も和み会話されました。



成功事例 ②

Bさんは食べることが大好きなのですが、病状の進行とともに、ハシを使うのが苦手になり、そんなご自分に悲しくなり、食事中に動けなくなってしまうことが増えてきました。**こんなとき、良かれと思って介護者がすぐに食事介助し始めるのは、ご本人のプライドを傷つけ逆効果になることも。**Bさんが好きな金時豆をお出しすると、体が動きやすくなってハシを使えるようになり、自信も取り戻してごはんや他のおかずも引き続き食べ進められました。



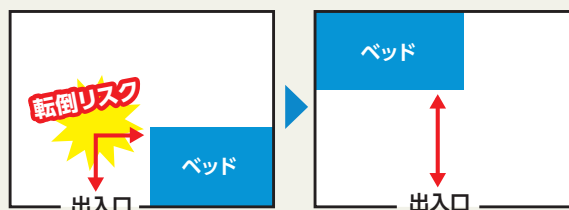
残念ながらBさんは病状の進行とともにやがてハシも使えなくなってしまうのですが、ご本人の希望もあり小さなおにぎりにするとハシを使わなくてもごはんを食べ続けられました。



方向転換角度が急だとバランスを崩しやすくなる

成功事例 ③

施設の個室で暮らしているCさんが、居室の中で転倒されたことがありました。ご本人希望の家具の配置で、伝い歩きもできるようになっていましたが、ベッドから居室を出るまでの**90度の方向転換が苦手**になってきているようでした。そこでご本人とお話し、ベッドから居室までまっすぐ歩ける動線を確認できる配置にすると、以降の転倒はなくなりました。



ベッドに戻るときは180度の方向転換することになるので、支えを設けたり、介護者が付き添ったりしたようです。



室内用自在手すり ツインディなら！



進む方向が目で見えてイメージしやすいです。

方向転換角度を緩やかにできます。

パーキンソン病では自分の動き方や動線が**目で見てイメージ**できると体が動きやすくなることもあります。

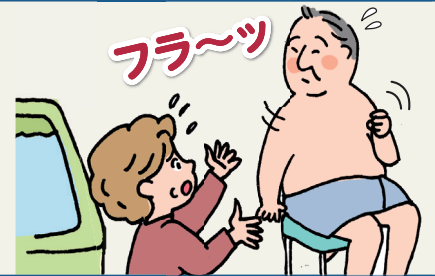


片麻痺

お尻・太ももの支えが少ないと、バランスを崩しやすい

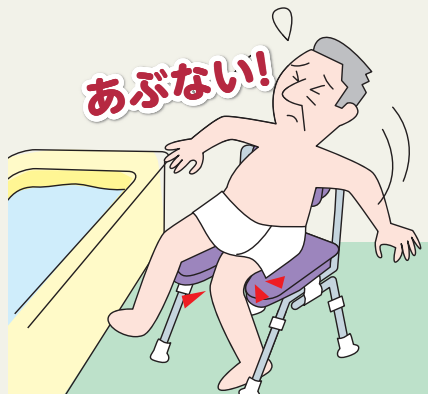
ヒヤリハット事例 ①

Dさんは大柄な方で、片麻痺により移乗は全介助でした。入浴用イスに介助者が移乗さしあげたとき、イスの中央に座れずに**ほんの数センチ麻痺側のお尻、太ももが座面からはみ出た状態**でした。介助者が座り直し介助を後まわしにして、車いすを先に片付けようとした瞬間、Dさんはイスから傾き、危うく転落してしまうところでした。



ヒヤリハット事例 ②

施設で暮らしているEさんは片麻痺により、入浴時は移乗も洗身も全介助でした。いつも使っている入浴用イスが修理に出されているので、代替りのイスに座っていただいたのですが、常にEさんの体が前や横に傾き、ひやひやしなごらの介助だったそうです。後でわかったのですが、**座面がU型で、背もたれ角度がほぼ垂直だったこと**が座った姿勢が保ちづらい原因でした。



シャワーチェア(入浴用イス)なら!

足も上げやすい
ゆったり背もたれ

座位が安定する
ゆったり座奥行



座面のサイズと、座奥行のサイズは異なります。背もたれの位置によって深く座れるかどうか変わってくるので要注意です。

ヒヤリハット事例 ③

先ほどの大柄な男性、Dさんのトイレでのお話。Dさんは座って排尿するのですが、手で自分の排尿の向きをコントロールできず尿を前にこぼし、ズボン・パンツを汚してしまうことがありました。原因は、**便座の上で姿勢が崩れるので、怖くて手すりから手を放せなかったことにありました**。それに気づいた介助スタッフが、倒れやすい側にイスやクッションで支えをつくと、以降は健側の手で尿の向きをコントロールできるようになりました。



トイレ手すりなら!



壁手すりを放すと
マヒ側に傾きがち



トイレ手すりでは
健側が自由に



スライド手すりを
戻しやすい

便座は穴があいている分、体が傾きがち。レンタル用のトイレ手すりは工事しないで設置でき便利です。



詳細は
「介護・生活快適商品カタログ2019-2020」
をご覧ください。

上記品揃え以外も取り揃えております。

ご利用は

今回は

福祉用具の導入事例その②をご紹介します。

パナソニック エイジフリー株式会社 ケアプロダクツ事業部
〒571-8686 大阪府門真市大字門真1048

<http://sumai.panasonic.jp/agefree/products>

法人のお客様 製品・在庫に関するお問合せ TEL06-6908-8141
個人のお客様 製品に関するお問合せ

0120-365887 受付 | 9:00~12:00/13:00~17:00
時間 | (土、日、祝日休み)

このチラシの記載内容は2019年12月現在のものです。